

## 令和7年度 入学式式辞

正門の桜が咲き誇り、播磨灘から春の風が吹き抜けていく今日の佳き日に、ご来賓の佐伯謙作播磨町長様をはじめ、多数のご来賓の皆様、並びに保護者の皆様のご臨席のもと、兵庫県立播磨南高等学校 第42回入学式を挙行できますことは、この上ない喜びであります。高いところからではございますが、ご臨席賜りました皆様方に厚くお礼申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました160名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。我々教職員一同は、皆さんの入学を心より嬉しく思っています。

また、保護者の皆様におかれましては、立派に高校生となられたお子様の晴れやかな姿を目の当たりにされ、そのお喜びはいかばかりかと拝察しますとともに、高校入学までの道のりは決して簡単ではなかったことと存じます。ここまで新入生諸君を支えてこられました保護者の皆様に心よりお祝い申し上げます。

本校は昭和59年に播磨町唯一の高等学校として設立され、令和5年には創立40周年を迎えました。校訓である「自律・創造・友愛」の精神のもと、学力・人格形成の両方を伸ばすことで、市民としての社会的責任を果たし、地域に貢献する自立した人材を育てる教育を行っています。これから播磨南高校で学んでいく皆さんに大切にしたいことがあります。それは前向きな意識を持って高校生活を送ることです。この播磨南高校では色々なことにチャレンジすることができます。皆さんの先輩で入学時は勉強が苦手だったけれど、コツコツ努力をして目指す進路を実現した人がいます。また、英語検定や漢字検定の2級や準2級に合格した人も多数います。部活動では、初心者から競技を始め近畿大会に出場した人がいます。ボランティア活動では、播磨町のイベントに合計で100人もの生徒が参加しています。この先輩達はみな特別な人ではなく、前向きにチャレンジをした人達なのです。何かにチャレンジしようとする時、自分にはできないのではないかと、失敗したらどうしようと後ろ向きになることがあります。やってみよう、挑戦してみようと自分を前向きにしてください。また、高校生活が始まると友達付き合いや人間関係で悩むこともあるでしょう、そんな時に自分か

ら友達に「おはよう」と声をかけ、「ありがとう」や「ごめんね」の言葉を大切にして、前向きに人と関わって行けば道は拓けてくるはずです。朝の来ない夜はありません。苦しい時、しんどい時はあるでしょうが、それを乗り越えて色々な事に前向きにチャレンジし、その挑戦を最後までやり抜く力を身につけてもらいたいと思います。

そして皆さんを支えてくれる人が周りには大勢います。家族、友人、先生方はもちろんですが、同窓会やPTAも皆さんを支えてくれる存在です。播磨町や播磨町議会の方々、中学校の先生方も本校と連携して皆さんを応援してくれていることを知っておいてください。

長い目で見れば、私たちには自分の人生を幸福なものにするという目的があり、人生を意義あるものにするために高校で学ぶのです。人生の中で高校三年間は短いですが、この三年間がその後の長い人生に大きく影響を与えます。自分の道は自分で作るのです。

新入生の皆さんが自分の意志を持ってこれからの学校生活に取り組み、自分が行動した結果に責任を持って前へ進んで行ってくれることを心より期待しています。

その皆さんを私たち教職員は全力でサポートしていきますので、一緒に元気に前向きに高校三年間を意義あるものにして行きましょう。

保護者の皆さま、これからの高校生活も山あり谷ありになろうかと思えます。子ども達が立派な大人として本校を卒業してくれることを、我々全員の共通の目的として、一緒に悩み、考え、相談しながらやっていきたいと存じますので、どうぞよろしく願いいたします。

これからの時代を担っていく新入生の皆さんが、今の気持ちを胸に刻み、心身ともに健康で明るく、前向きに学校生活を送れますようお祈りしまして、式辞といたします。

令和7年4月8日 兵庫県立播磨南高等学校 校長 黒岩 寛